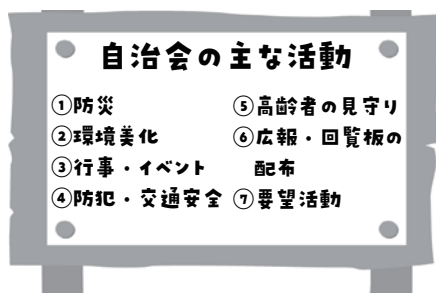




1 限目：自治会とは？

皆さんは地域にある自治会の役割や活動をご存じですか。自治会は、地域の人たちとの交流や、困りごとの解消、共通利益の実現など、住みやすい地域づくりを目的として活動する、地縁（同じ地域に住んでいる縁）に基づく組織です。



これらの活動は自治会が主となって、または学区のまちづくり協議会や行政・企業などと一緒に、地域住民が協力・助け合いなどをしながら、住みやすい地域を作るために取り組んでいます。このようにして、みんなが快適に暮らせる生活環境が維持されています。

つまり、地縁組織である自治会は、身近な生活環境を整えるための最も基本的な組織といえます。

来月からは、「自治会ってこんなことをしているよ」、「もし、自治会がなかったら…」というような切り口から、自治会の役割や活動をお伝えします。



2 限目 地域の課題解決のために

自治会では、地域住民が安心・安全でより快適に暮らせるよう、地域の課題解決に取り組んでいます。

子どもが安全に遊べる遊具がない児童遊園に遊具を設置したり、夜道でも安心して歩くことができるように防犯灯を設置・維持管理したりすることなどはその一例です。また、災害時の備えとして、消火用機材の整備や自主防災組織の設立・運営なども、自治会として大切な取り組みのひとつです。

そこで、市では自治会の費用負担を少しでも減らせるよう、補助金制度を設けています。

自治会の活動方針や予算を決定する中で、活用できそうな補助金があれば、担当課に相談・協議しながら申請してください。自治会向けの補助金は、市ホームページ（HP 14396）「まちづくり資料集」に掲載しています。

地域をこうしたら良くなるのでは…という課題や思いを持っている人は、みんなでより良い地域社会を作るため、自治会活動に積極的に参画しましょう。





3 限目

地域の清掃活動に参加しよう

河川敷や公園などに雑草や枯れ葉、ごみが落ちていることがあります。これらを放置することは、景観や防犯によくありません。

そこで、地域住民が快適で安心して過ごせる環境を維持するために、自治会では除草やごみ拾いなどの清掃活動を行っています。清掃の案内がきたら、積極的に協力をしましょう。近隣住民と一緒に作業することで、コミュニケーションを図る良い機会にもなります。

また、梅雨や台風時は多雨による水害が起こりやすい時期です。側溝などのヘドロを掃除しておくことは、そうした災害の予防にもなり、衛生的です。年間活動の一つとして地域の溝掃除を行っ

ている自治会もあります。皆さんも身近なまちづくり活動に参加してみませんか。

なお、市では自治会や町内会などに対して清掃活動用具の貸し出しを行っていますので、ぜひご利用ください。



4 限目

自治会要望で協働のまちづくり

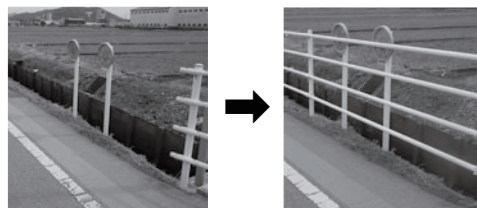
生活をしていると、地域の危険箇所や困りごと、改善すべきところなどが見えてきます。

市では協働のまちづくりを推進していることから、地域の美化活動や防犯・防災など、自治会でできることは自治会で対応していただいています。しかし、道路や河川に関すること、交通安全施設の整備、危険箇所の事前対応など、自治会だけでは対応することができない課題もあります。これらの課題に対応するため、「自治会要望」という制度を設けています。

自治会要望は、自治会の総意としてその内容を示した文書を市に提出していただく必要があります。地域の課題などに気付いた場合は、まずは自

治会へ伝えてください。自治会から提出のあった要望は対応を協議・検討し、実施の可否などを回答します。

自治会要望の制度を活用し、住民、地域、行政が協働しながら、より良いまちづくりを実現しましょう。



例：自治会要望で通学路に設置された転落防止柵



5 限目

お互いの顔が見えるまちづくり

～地域のイベント・行事に参加しよう～

地域では、自治会が主催となって開催しているイベントや行事がたくさんあります。

例えば、子どもからお年寄りまでが楽しめる夏祭りやレクリエーション、健康維持に役立つスポーツイベント、地蔵盆のような文化的な行事もあります。

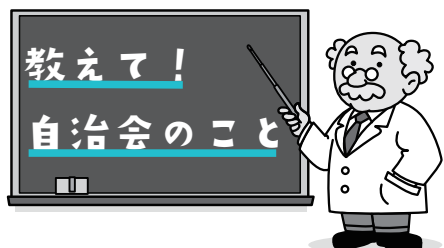
このようなイベントや行事には、それ自体が持つ本来の意味や目的がありますが、その一方で住民同士の親睦を図るという大きな役割も持っています。

普段から積極的にイベントなどに参加し、親密な関係性を築いていけば、災害時や緊急時、日常生活での困りごとなど、いざという時にお互いを助け合えることにつながります。

ここ数年、コロナ禍でイベントや行事の形態が変わりつつありますが、企画者側として参画するなど、地域住民のひとりとして、ぜひイベントや行事に参加してみたいはいかがでしょうか。



地域住民でにぎわう夏祭り（平成30年度開催）



6 限目

見守り支えあいの地域づくり

～加茂町自治会の取り組み～

地域で生活するなかで気になることを共有し、みんなで解決に向けて取り組むため、見守り支えあい活動を行っている自治会があります。地域住民の困りごとを把握して解決方法を話し合い、声かけやごみ出しなどできる範囲で住民同士が支え合う活動で、市内の72自治会で実施されています。

例えば、岡山学区の加茂町自治会では、若い世帯が増える一方、高齢化・単身化も進んでいるため、「加茂町支えあい会」を結成し、見守り支えあい活動を行っています。町内の組単位の見守り訪問を中心に、困りごと把握と情報共有、解決に向けた話し合いを定期的に行っています。地域の回覧「支えあ

いの和」も月1回発行し、活動の周知を図っています。

このように自治会では地域の困りごとを住民が情報共有し、お互いが支え合い、住みやすい地域づくりに取り組んでいます。



見守りマップを使った話し合い（加茂町）



7 限目

地域住民でつくる

災害に強いまちづくり

自治会では、万が一の災害時に効果的な共助活動ができるよう、自主防災組織を設けたり、地域住民が被災しないための避難方法や救助活動を定期的に確認したり、消火訓練を行ったりするなど、安心・安全なまちづくりに努めています。

令和4年防災白書によると、阪神・淡路大震災での要救助者のうち、約8割の人は近隣住民などに救助されたという調査結果があります。また令和2年7月の熊本県を中心とした豪雨での避難行動のきっかけでも、周囲の状況変化や行政からの呼びかけのほか、家族・友人・知人や町内会・近所の人による呼びかけも効果があったとされています。

これらの結果から、災害時の共助が効果的に機能しており、地域住民とのつながり、ひいては自治会への加入や日頃の地域活動への参加が家族や自分の命を守るために重要といえます。普段から自治会などを通じて地域住民同士が助け合える関係を維持し、いつ起こるか分からない災害に備えましょう。



自治会での消火訓練
(令和4年6月実施)



8 限目

地域の居場所作り

～ふれあいサロン活動で生き生きと～

健康な生活を長く送るためには、孤立・閉じこもりを防止して、健康・生きがいづくりの増進が必要とされています。そこで、多くの自治会では、自治会館などを活動拠点として、「ふれあいサロン」を開催しています。

ふれあいサロンでは、参加する人とボランティアとが一緒になって企画をし、体操、脳トレ、ゲーム、歌、折り紙や編み物などの創作活動、健康の話などの学習会、屋外でのウォーキングなどの取り組みを行っています。

こうした活動に参加することで、適度な刺激を得ることができ、孤立・閉じこもり防止や健康・生きがいづくりになっています。また、身近な地域でし

か得られない生の情報にふれることができるため、安心感がもたらされ、住民同士のきずなが深まり、気にかけてあう関係性も生まれています。

コロナ禍では思い通りに集まるのが難しいこともありますが、十分な対策を講じたうえで、ふれあいサロンに参加し、自治会活動を通じた仲間づくりや生きがいづくりをされてはいかがでしょうか。



多賀町で開催された
ふれあいサロン



9 限目 地域活動で 安全・安心のまちづくり

誰もが安全で安心して暮らすことができる地域社会を築くためには、犯罪や事故が起きにくいまちづくりを進めることが大切です。今回は、そのための活動を一部紹介します。

夜道を照らす防犯灯の多くは、地域住民によって設置されており、また日頃の維持管理を行うことで、地域の安全・安心への意識が高められ、犯罪発生を抑止につながっています。

また、カーブミラーの定期的な鏡面磨きや破損状況のチェック、新たな設置箇所の検討・要望なども、地域内で交通事故を起こさないための重要な活動のひとつです。

他にも、年末が近づいてくると夜警や夜回り活動を行う地域があります。掛け声とともに拍子木を打ち、地域を巡回する姿はよく見る光景ですが、こうした活動を通じ、地域住民の犯罪や火災に対する注意を促しています。

これらの活動は、主に自治会が中心となっていて行っています。自治会活動に積極的に参画し、みんなで安全・安心の地域社会づくりを目指しましょう。



自治会で行われている夜回り活動



10 限目 自治会による施設の維持管理

地域住民が住みやすいまちづくりを実現するために、自治会では、さまざまな施設や設備を管理しています。集会や災害時の避難所として利用される自治会館や公園のほか、各家庭のごみを集積するごみステーションもその一つです。

各家庭から出るごみは、本市の場合、一部は直接環境エネルギーセンターへ搬入されますが、ほとんどのごみは地域のごみステーションに出され、市から委託を受けた業者が収集しています。

集合住宅や店舗などを除く多くのごみステーションは、地域の実情や必要な場所、規模などを考えて設置されており、自治会などが定期的な清掃や備品の購入、修繕をしながら維持管理されています。

また、家庭ごみを近くのごみステーションに集約することで、効果的にごみを収集できるため、地域住民や行政の負担軽減になっています。本市のごみ捨てのルールが守られているのも、自治会でごみステーションが適切に維持管理されているからでしょう。こうした例は、地域と行政による協働の取り組みの1つともいえます。

この事例のように、自治会が適切に施設の維持管理を行うことにより住みやすい地域づくりを実現しています。



新しく設置されたごみステーション



11 限目

地域情報を手に入れよう

市政や地域の情報を知ることは、快適な生活を送るうえで大切です。

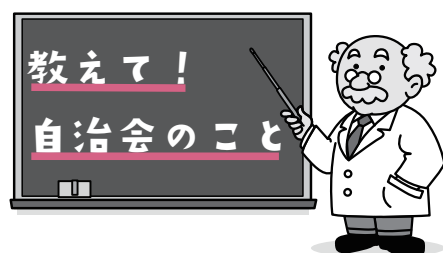
市では、ホームページ、タウンメール、LINE や YouTube などの SNS といった、さまざまな方法で市政情報を発信していますが、やはり代表的な媒体は、毎月発行している広報紙です。広報紙は、最新の市政情報や月々の募集、案内などを掲載しており、市民が暮らしの情報を得るための大きな役割を果たしています。この広報紙と一緒に、地域の出来事やお知らせを掲載した各学区のまち協だよりやチラシなどを、自治会の協力のもと、各戸に配付しています。

また、より地域に密着した情報を知るための媒体として、回覧板があります。自治会が地域住民に知ってもらいたいことや、自治会内での行事の案内などに活用しています。市も広報紙に掲載しきれない市政情報や、一部地域への案内、各機関・事業者の活動など、地域に必要な情報の回覧を自治会にお願いし、住民への情報発信や注意喚起を図っています。

本市は自治会との協働により、適時で充実した情報提供に努めています。



広報紙と回覧板



12 限目（最終回）

自治会活動に参加しよう

春が近づくと、多くの自治会では総会を開催し、1 年間の活動を振り返り、新年度の事業やお金の使い方、役員などを決めています。総会は、自治会運営の最重要会議として位置付けられ、会員が意見を述べられる機会にもなっています。また、総会に参加できなくても、その内容を掲示板や回覧板でお知らせしている自治会もあるため、こうした機会に 1 年間の自治会活動を確認してみましよう。



自治会で行われている会議

さて、4 月から 1 年間通して掲載してきたこのコーナーも今月号で最後になりました。各月で自治会活動の一端を紹介していきましたが、少しでも自治会活動に関心を持ってもらえたでしょうか。

自治会は地域住民の協力によって活動が成り立っています。日常生活を送るうえで、「ちょっと困ったな」「もっとこうしたら住みやすい地域になるのに」と気が付いた際は、一人の自治会員として自治会活動に参加し、いろんなアイデアを提案してみてください。自治会活動への参加は、安心・安全で快適な地域生活を送るための第一歩です。